

学習指導要領		都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「幸福、正義、公正」などの考え方が、現代社会の諸課題を考察するための基盤であることを説明できる。 ・生命倫理等では幸福の概念が個々によって異なる。多様な考え方があることを理解・受容し、正義・公正という観点を踏まえて考察できる。
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p><青年期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の青年期の意義と具体的な現象について理解する。大きく変容する現代社会において、モラトリアムの長期化が起きていることを自らの課題として意識し、説明・考察できる。 <p><自己形成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデンティティの確立や望ましい自己実現に向けて、周囲の人間関係や将来の職業生活などについて考察できる。その際、自らのこととして、問題意識を持って取り組める。 ・現代社会における自己実現とは、社会との関わりの中で達成されることを理解する。仕事やボランティアなどによる積極的な社会参加や、社会的役割を果たすことによって自己実現は可能になる。自らがどのような社会的役割を担うべきかを多面的に考察できる。 ・我が国の伝統や文化について深く理解する。我が国の伝統や文化が、自己の行動様式や考え方にとどのような影響を与えているかを説明でき、諸外国の伝統や文化と比較し、考察できる。

学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政治分野の学習を、自らの生活と関連付けて理解・考察・説明できる力を身に付ける。 <p><日本国憲法の三大原則></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会契約説について理解し、市民革命に与えた影響を説明できる。ロックやルソーの思想が、各種の人権宣言や我が国の憲法などにも大きな影響を与えたことを説明できる。 ・基本的人権が確立する歴史的経緯を理解し、説明できる。日本国憲法で保障されている基本的人権について、自らの生活と関連させて説明できる。 ・日本国憲法の三大原則である国民主権を大日本国憲法との比較、象徴天皇制との関連を踏まえて説明できる。 <p><政治参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の選挙制度を理解する。政治参加の手段として国民審査や国民投票などがあることも理解する。 ・我が国の平和主義をめぐる憲法解釈について、最高裁の判例などに基づいて理解を深める。現代の国際情勢から、我が国の安全と世界の平和の維持が不可分であることを説明できる。 ・議会制民主主義に基づく日本の政治機構について、アメリカ・イギリスなどの他国と比較して説明できる。 ・世論形成に影響を与えるマス・メディアの働きについて理解する。情報が溢れる現代で、自ら学んだ知識を活用し、自らの意見を論理的に説明でき、主体的に政治参加する基礎を身に付ける。
<p>ウ 個人の尊重と法の支配</p> <p>個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<p><個人の尊重></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由や権利の行使に際しては、基本的人権の保障とともに、他者の権利や公共の利益との調和を図る必要があることについて、具体例を挙げて説明できる。 ・多様性を認め合える共生社会を構築することが重要であることを理解し、社会の中で自らがどのような役割を担うのか考察できる。 <p><法の支配></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法に基づいて、基本的人権が永久不可侵の権利であることを理解し、国家権力による人権不可侵の原則を説明できる。

学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法の支配とは、為政者による恣意的支配を排除し、合理的な議論に基づく統治を目指すものであることを理解する。 ・法に基づく公正な裁判が保障されることで、国民の権利が守られ、社会の秩序が維持されることを理解する。また、現行の司法制度改革（裁判員制度など）における議論の内容と現状について、自らの意見を交えて説明できる。 ・経済分野の学習を、自らの生活と関連付けて理解・考察・説明できる力を身に付ける。 <p><現代の経済社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済がどのように発展してきたのか、歴史的背景を踏まえて説明できる。 ・市場における価格メカニズムについて、身の回りの財・サービスと関連付けて、需要曲線と供給曲線のグラフから説明できる。また、市場は万能ではないことを理解し、市場の失敗と政府の役割を理論的に説明できる。 ・財政に関する理論（ビルトインスタビライザーなど）を理解するとともに、日本の財政の現状について、財政健全化の必要性を踏まえて説明できる。 ・金融の意義について資本主義経済と関連づけて理解する。 ・現代における金融の自由化やコール市場の発展について、先進国経済の動向を踏まえて説明できる。また、日本の金融の特徴について、他の先進国と比較しながら説明できる。 ・現在の我が国において、景気浮揚を図るために政府が行う経済政策について、具体例を示して説明できる。 <p><財政・社会保障・企業の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における雇用・労働問題について、ワーク・ライフ・バランスやワーク・シェアリングなどの考え方を交えて説明できる。 ・日本の社会保障制度が抱える課題について、財政課題と関連づけて理解し、制度の持続可能性が大きな課題となっていることについて説明できる。その際、自らが生産年齢人口に該当し、自らの問題として主体的に考えられるようになっている。

学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済発展と環境保全を両立させるために、個人や企業が取り組むべき課題について、メセナ・フィランソロピー、CSR といった観点から具体例を挙げて説明できる。 ・ 現在のグローバル化のもたらす諸課題について説明できる。 <p><国際社会の動向></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権に関する国際的な宣言や規約等の成立、国際法による国家主権の制限の意義、我が国固有の領土をめぐる問題に対する我が国の正当な立場と平和的解決の重要性などについて説明できる。 ・ 人権、国家主権、領土などに関する現在の国際的な課題と背景について理解するとともに、その解決に向けた国際的な取組について説明できる。 ・ 人種・民族問題発生背景や原因、近年の難民問題などについて具体的事例に基づいて考察し、紛争を回避するための考え方や国際機関などの果たすべき役割について説明できる。 ・ 冷戦下で軍縮に向けて国際条約が結ばれた背景を説明できる。 <p><日本の果たすべき役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地球規模の問題解決のためには国家・民間、様々なレベルでの国際協力が求められていることを理解し、食料の安定確保なども含む我が国の総合的な安全保障の重要性について、国際協調の立場から説明できる。 ・ 経済のグローバル化が急速に進展している背景について多国籍企業の事業展開、国際的な投資の拡大などの背景を理解する。国際経済問題の解決には地球規模での連携が必要であることについて、具体例を挙げて説明できる。 ・ 地域経済統合や自由貿易協定の理解を深め、自由貿易体制を維持・発展させることが重要課題であることを説明できる。また、それらを我が国の喫緊の課題としても捉えることができ、考察・説明できる。 ・ 南北問題などの経済課題について、歴史的背景も踏まえて考察し、国連機関や非政府組織の果たした役割を知る。また、諸経済問題について我が国の取り組みと今後の役割について意見をまとめられる。

学習指導要領		都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>持続可能な社会の形成に主体的に参画する意欲を持ち、現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察できる。その際、自分の言葉で自分の意見をまとめられ、他者に論理的に説明できる。</p>

